



佐賀市立小中一貫校富士校小学部 学校だより

かがやけ！！富士っ子！！

ひとりひとりが輝く 富士っ子をめざして

【第2号】

令和8年5月25日発行
文責 校長 久芳 信之
TEL 0952-63-0013

☆1年生を迎える会&春の遠足☆

5月1日(金)、体育館で「1年生を迎える会」を行いました。6年生に手を引かれ入場してきた8人の1年生。少し緊張しましたが、ニコニ笑顔での入場でした。3年生のお世話で、「さんぽ」を全校児童で歌ったあと、1年生一人一人が、2～6年生の前で、一人ずつ堂々と自己紹介をすることができました。縦割り班で写真撮影をした後、4年生・6年からの「プレゼントわたし」がありました。手にもてないほどたくさんのプレゼントでした。

その後、素晴らしい天気の中、富士町民グランドまでの遠足に出発しました。3名の交通安全指導員の方が、子どもたちの安全を見守ってくださいました。上級生は、1年生のことを気遣い、荷物を持ってあげたり、励ましたりする姿も見られました。グラウンドでは、お弁当、お菓子を食べた後、たてわり班で、時間いっぱいあそび楽しみました。

☆富士校体育大会☆

5月16日(土)、多くのご来賓をお招きして、富士町民グランドで、第11回富士校体育大会を行いました。日頃の頑張りが届いたようで、当日は快晴の体育大会日和となりました。これも富士っ子たちの日ごろの行いが良いためではないでしょうか。

応援合戦や徒競走、ダンスなど、すべての種目に全力で取り組んだ富士っ子たちでした。3年目の春開催でしたが、小学部6年生や中学部の生徒が昨年度から準備をはじめ、皆をリードし、とても良い体育大会になりました。

今年は、中学部の生徒が考えた種目もあり、また、保護者や来賓、教職員による玉入れも行われるなど、多いに盛り上がりました。

早朝よりご協力いただき、後片付けでもたくさんのお手伝いをしていただいた PTA 役員の皆様、保護者の皆様、地域の皆様、誠にありがとうございました。

☆なぜ、佐賀市学校教育ビジョンに取り組むのか？☆

佐賀市では、子どもの well-being の実現に向けて、子どもの主体性を伸ばすために「自律」「尊重」「創造」の3つの力を育みます。

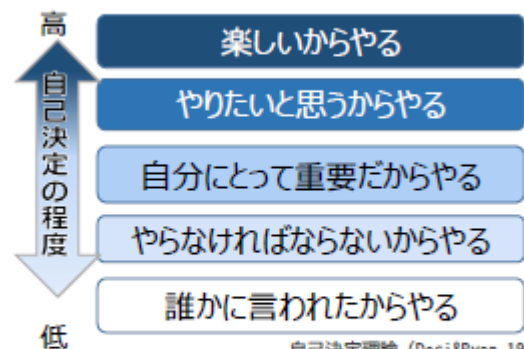
しかし、なぜ今、「佐賀市学校教育ビジョン」に取り組むのでしょうか。

私たちが子どもたちにはなかった職業が次々と生まれ、学び直して転職・独立する人、副業とのダブルワークなど終身雇用ではない働き方も増えています。誰も経験したことがない「変わり続ける時代」において、大人が子どもに教えられることには限りがあります。だから、子どもたちがどんな未来に出会ったとしても乗り越えていけるように、生涯を通して自ら学び続ける力が必要となります。

教室には多様な子どもたちがいます。

学習の理解度や理解しやすい方法、認知特性などそれぞれ個人差があり、子どもたちはみんな違います。

自分らしさを引き出す「主体性」の高まり



自己決定理論 (Deci & Ryan, 1985)

発達段階や集団の成熟度に応じて、大人は段階的に子どもたちに任せる部分(自己決定の場面)を増やしていきます

「みんな一緒に」「みんな同じことを」「同じ方法で」の学びでは、すべての子どもたちの well-being を実現することが難しくなっています。そのためこれからの学校教育には、子どもの主体性を伸ばすための次の3つの力を育むことが必要なのです。

「自律」…自分で考え、自分で決めて、自分で動き出す力を育みます

「尊重」…対立やジレンマを乗り越え、合意形成する力を育みます

「創造」…多様な人々との協働を通して、新しい価値を生み出す力を育みます